

カンボジア最新レポート

～Skypeを使った交流授業～

10月18日（金）に林田中学校で、山口文代さんによる国際理解出前講座「カンボジア最新レポート」を実施しました。3年にわたって山口さんの講座を受け、暑中見舞いなどを通じてカンボジアの日本語学校と交流を深めてきた林田中学校3年生の皆さんですが、今回は締めくくりとして、インターネット電話skype（スカイプ）を使って交流をしました。



体育館には、スクリーン、プロジェクター、パソコン、マイク、スピーカーなどを設置し、こちらの様子がカンボジアの生徒さんに伝わり、またカンボジアの様子がスクリーンに映し出されます。

今回は、カンボジアの生徒さんが日本に関する質問をし、林田中の生徒さんがそれに答えるという形で進行了ました。

こちらで、「こんにちは」と挨拶すると、カンボジアの生徒さんから「こんにちは！」と元気な挨拶がかえってきます。クメール語で「こんにちは」という意味の「チョリムアップ・スオ！」と言うと、画面からは「お～！」とうれしそうな歓声があがりました。

カンボジアからの質問は、「学校の制服はどんな服？」「何歳ぐらいから携帯電話を持つのか？」「伝統的な遊びについて知りたい」などです。伝統的な遊びとして、あやとりを実演すると、カンボジアの生徒さんは食い入るように眺め、素早い手さばきに驚いているようでした。こうやって見せることができるのは、スカイプならではです。この後、画面越しに“あっちむいてほい”で対戦したりして、楽しい交流の一時を持つことができました。



最後に、林田中学校の生徒さんが校歌を、カンボジアの生徒さんはクメール語と日本語で「涙そうそう」を熱唱してくれました。3年間の活動を締めくくるとても有意義な交流ができた講座でした。

